

上野村バイオマス産業都市構想の概要

群馬県多野郡上野村、人口 約0.1万人、面積 約1.8万ha

構想の概要

木質バイオマス利用を中心とした森林資源を無駄なく利用し、持続可能な村内循環型社会を確立する。

1. 将来像

- ①森林資源の地産地消、地産地活の仕組みで雇用を創出する「村内循環型社会」を形成
- ②小規模バイオマスコミュニティを形成する「上野村モデル」を確立

2. 事業化プロジェクト

- ①小規模バイオマスコミュニティ
 - ・木質バイオマス発電施設事業
 - ・上野村きのこセンター
 - ・木質ペレット生産事業
 - ・林業振興事業
 - ・バイオマスボイラー農業利用事業

4. 地域波及効果

- ①木質バイオマス資源の持続活用
 - ・Co2削減効果: 283.22 t-CO2/年
 - ・雇用効果:10人の雇用確保
 - ・経済波及効果:6.5百万円
- ②上野村きのこセンター
- ③農業振興事業及び農産物加工事業の活性化
 - ・新規就農者: 5名
 - ・農業分野での新規雇用: 5名
 - ・農産物加工分野での新規雇用: 5名
- ③上野村バイオマスツアー拡大事業
 - ・ツアー参加者の増加: 400人/年
 - ・村内視察による経済波及効果: 500万円/年
 - ・日帰りから滞在型への変更、地域間の交流事業拡大

5. 実施体制

・村が「上野村バイオマス利用推進協議会」を設立し、各事業の中核を担う。

6. その他

- ・「上野村第5次総合計画」
- ・上野村まち・ひと・しごと創生総合戦略」
- ・上野村バイオマス活用推進計画(予定)

バイオマス産業都市コミュニティの先にある目指すべき姿
上野村が描く小規模バイオマス・コミュニティ

